



日本共産党区議会議員

こんにちは  
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952  
足立区役所 電話3880-5111（内線4650～4654）  
日本共産党区議団 直通3880-5770  
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

# 第3回定例議会はじまる



若者と人間を使い捨てるブラック企業をなくし  
区民に寄りそい安心して暮らせる「福祉都市」  
足立区にする改革をめざして！

## 日本共産党は2つの条例案を提案し論戦

足立区議会 第3回定例議会ははじまりました。

9月17日から10月25日まで39日間の日程で開かれ、来年度の予算編成に反映させる論戦が行われます。

日本共産党代表質問は9月18日（水）ぬかが和子議員、一般質問は9月19日に鈴木けんいち議員が行いました。議日程は左記表の通りです。

決算特別委員会は10月9日から11日、15日から17日まで開かれます。

区民のみなさん。区議会の傍聴に来てくださいお願いします。

### 第3回区議会定例会 9・10月会議日程

日	午前	午後
17日（火）		本会議（初日）：午後1時
18日（水）		本会議（2日目）：午後1時
19日（木）		本会議（3日目）：午後1時
20日（金）	総務委員会：午前10時	
24日（火）	区民委員会：午前10時	
25日（水）	産業環境委員会：午前10時	厚生委員会：午後1時30分
26日（木）	建設委員会：午前9時	文教委員会：午後1時30分
27日（金）	議会運営委員会：午前10時	本会議（4日目）：午後1時
9日（水）	決算特別委員会：（特別委員会室）午前9時30分	
10日（木）	決算特別委員会：（特別委員会室）午前10時	
11日（金）	決算特別委員会：（特別委員会室）午前10時	
15日（火）	決算特別委員会：（特別委員会室）午前10時	
16日（水）	決算特別委員会：（特別委員会室）午前10時	
17日（木）	決算特別委員会：（特別委員会室）午前10時	
21日（月）	交通網・都市基盤整備調査特別委員会：午前10時	〔会期中請願締切日〕
22日（火）	子ども施策調査特別委員会：午前10時	災害・オウム対策調査特別委員会：午後1時30分
23日（水）	生活保護・高齢者生きがい対策調査特別委員会：午前10時	
24日（木）	議会運営委員会：午前10時	
25日（金）		本会議（最終日）：午後1時

日本共産党の代表質問は、区長の政治姿勢で原発・平和について1、福島第一原発事故は大量の汚染水が海に流出している事態は人類が初めて直面する非常事態、危機的状況であり、『収束宣言』を撤回し、非常事態との認識のもと事故対策に対応すべきと思うが区長はどう考えるか。

海産物への汚染、内部被曝の懸念や心配が高まるなか、安心のために学校・保育給食など放射性物質測定体制を改めて構築するべき

だがどうか。

2、消費税増税は、13.5兆円と言う史上最大の増税を実施すれば、国民の暮らしと経済、日本経済、財政危機も一層ひどくなることは明らかである。区民の代表として増税中止を求めるときだがどうか。安倍政権の雇用破壊、生活保護の切り下げ、TPP、集団的自衛権の行使、憲法改悪へと進む暴走に、区民の命・健康を守る地方自治推進の立場から政府に意見を上げるようにいただきました。

区が進めている『経営改革プラン』と外部化について、官製ワーキングプアの拡大と区民サービスの低下を招くのではないかと。公契約については、新年度予算編成について、災害対策、ブラック企業、貧困ビジネス、子ども施策と教育についてなど質問しました。

一般質問は、政府の社会保障制度改革と区民の健康・命について質問。

日本共産党区議団は9月19日の本会議で、「食品衛生検査施設に放射性物質検査機器」を加える条例と「足立区放射能汚染対策推進協議会条例」の2議案を議員提出議案として提出しました。放射能汚染から子どもの健康を守る区民の願いに応えたものです。

# 副館長雇止め（解雇）が裁判に

## 竹の塚図書館



訴訟内容を説明するため記者会見する弁護士

### 指定管理者という外部化のもとで ブラック企業のような低賃金を強要

足立区は公共施設の管理を民間企業などに代行する指定管理者制度を広げ、足立区立竹の塚図書館・副館長だった女性

最低賃金違反を指摘し  
是正を求めた副館長を  
雇止めに



9月から、13人の従業員が自分の勤務日の夕方に作業すると、蔵書録と照らし

(51)を、図書館の指定管理会社が雇入れ拒否される雇止め事件が起きました。

「司書資格を生かし、好きな図書館で働き続けたかった。図書館で働く道が低賃金で無権利ともいえる民間企業しかなくて残念だ」と話します。

女性は8月21日、東京地裁に地位確認などを求めて提訴に踏み切りました。

女性は指定管理者で竹の塚図書館の管理や運営をしているトミックス(株)の従業員。司書資格を持ち、ほかの図書館で勤務した経験があることから、同館の業務の中心を担っていたと言います。

時給180円は最低賃金法違反

会社は2011年8月、区の委託を受けて図書館内の約2万冊の蔵書に防犯用シールを張り付ける作業を従業員に指示。1枚7円で、勤務後に内職として作業するように命じたとい

しかし、会社が改善しようとしなかったため、女性は区に公益通報しました。ところが、会社は次の期間満了で契約を打ち切ると通告してきたのです。

雇止め理由には、ルールを守れない、協調性がないなどの理由が挙げられています。しかし女性は副館長になって、地域の学校訪問や特に専門性が必要とされるレファレンス(利用者への調べもののお手伝いなどをレファレンス・サービスという)も滞ることなく行っていました。

図書館の外部化によるコストカットが要因

女性は足立区コミュニティセンターの組合員で、労組側が団体交渉で雇用の継続を求めても、会社は期間満了の一点張りでの撤回しなかったと語りました。

記者会見で弁護士は「指定管理者が過度のコストカットを行ったことで、従業員が極端に低い賃金で働くことになり、これに対し改善を要求した女性への『報復』として雇止めが起きた。このことは、公益通報監察員による調査報告書でも詳しく述べている」と指摘しています。

区議会では日本共産党区議団が「指定管理者制度が官製ワーキングプアをつくり出している。外部化のもとで、ブラック企業のように

な低賃金を強要するなど許されない。公共サービスの質と安定した労働条件を確保するべきだ」と追及しています。

図書館を利用するという住民からは、「ニュースで裁判を知り、私が行く図書館も同じだなあと感じていた。近くの図書館は自動車修理会社が指定管理者で、若い職員はすごく一生懸命働いているが、顔ぶれがしょっちゅう変わるのになんか不安だ。給料がすごく安いんじゃないかと思う。区も調査して改善するべきだ。本も新しいものを増やしてほしい。区の誠実な努力を求めたい」と話しています。

区民の皆さんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。(伊藤和彦)

## 草津温泉1泊旅行

10月6日(日)~7日(月)  
草津温泉 ホテル・紅葉  
参加費 1万3000円  
問い合わせは、3859-4728 柿木



## 楓の会・復興支援バス旅行

10月27日(日)日帰りバス旅行  
復興支援・大洗海岸果物狩りと温泉と  
参加費 7000円 子ども4500円  
問い合わせは、3885-4631 青木

## 北部ふれあいまつり

11月17日(日)陣川戸公園  
北部ふれあいまつり実行委員会

「住民賛歌」は次回に掲載